

(S2019-26 用)

研究課題名	京都における小児乳幼児突然死症候群（SIDS）を含む睡眠中の乳幼児死亡を予防するための効果的な施策に関する研究（H29-健やか-一般-001）
研究期間	西暦 2019 年 9 月 18 日 ～ 西暦 2020 年 3 月 31 日
研究の目的と意義	<p>小児（乳幼児）の乳幼児突然死症候群（SIDS）、事故死等をまとめて「予期せぬ乳幼児の突然死 SUID: Sudden Unexpected Infant Death」と呼びますが、この SUID 全体の予防が必要とされています。諸外国で最近「SIDS・SUID 予防キャンペーン」が展開されており、SIDS、SUID の浸透度は上がっています。我が国においても、まずはその存在の事実を、そして予防するのは親であることを、新しく赤ちゃんが生まれた家族全員に届けることが大切です。</p> <p>また、託児施設で発症（発生）する SIDS・SUID が我が国に比較的多いのは、我が国の託児施設利用月齢が世界的に早いという社会的要因のためですが、そのための対応が必要です。</p> <p>本研究は、小児救急領域における乳幼児突然死の実態調査（小児救急重篤疾患登録調査に登録された小児救急領域の乳幼児突然死症例を対象に死亡状況・死亡原因を検証）を行い、予防対策を提言することを目的とします。これらが完成された時、その効果は絶大であると考えられます。</p>
研究方法	<p>本研究は平成 29 年度より 3 年計画で開始されており、3 年目となる今年度は、厚生労働科学研究費補助金の交付を受けて実施します。</p> <p>当院は研究実施施設 10 施設の中で、小児救急領域における乳幼児突然死の実態調査（小児救急重篤疾患登録調査に登録された小児救急領域の乳幼児突然死症例を対象に死亡状況・死亡原因を検証）を行い、予防対策を提言します。</p> <p>なお、本研究は、令和元年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））により、実施されます。</p>
個人情報の保護、研究参加の拒否について	<p>研究実施に係る試料等を取扱う際は、被験者の個人情報とは関係のない被験者コードを付して管理し被験者の秘密保護に十分配慮する。試料等を研究事務局等の関連機関に送付する場合はこの番号を使用し、被験者の個人情報が院外に漏れないよう十分配慮します。また、研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにします。また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。全てのデータベースから個人情報・個人データを消去します。</p>
結果の公表	<p>この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。</p>
問合せ先	京都第二赤十字病院 小児科 副院長 長村 敏生 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171（代） FAX：075-256-3451（代）